

南丹の名所

るり溪

名勝指定90周年・令和4年度春季企画展

2022
4/2_土 - 5/15_日

□開館時間=9:00~17:00(入館は16:30まで)

□休館日=毎週月曜日

□入館料=大人310円(250円) / 学生200円(160円) / 小中学生100円(80円)

※()内は20名以上の団体料金、南丹市内在住・在校の小・中学生は入館無料

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方は別途割引料金となります(手帳をご提示ください)

〒622-0004 京都府南丹市園部町小椋町63番地 TEL.0771-(68)0081 / FAX.0771(63)2983

南丹市立文化博物館 



るり溪 と 南丹の名所

南丹市園部町の南西部に位置するるり溪は、昭和7年(1932)に名勝指定をうけ、90年を迎えます。るり溪は、江戸時代に「滑(なめら)」と呼ばれており、園部・亀山・篠山の諸藩士たちが遊興に訪れていたと言われています。その後明治38年(1905)に船井郡長三宅從陰と西本梅小学校長の竹内源太郎が訪れた際に溪谷の美しさに感動し、「琉璃溪」と名付けました。

るり溪には富岡鉄斎や清浦奎吾といった著名な人物も訪れており、この地では多くの漢詩が詠まれました。昭和24年(1949)には京都府立るり溪自然公園として、人口湖「通天湖」をはじめとする観光レクリエーション施設が整備され、現在も多くの人が訪れています。

そこで本展では、江戸時代の地図、るり溪の名勝指定の歩み、近年の開発にも焦点を当てて紹介します。

また、南丹市内には、「園部八景」「平屋八景」「四ツ谷八景」などといった名所があります。南丹市内に点在する八景は古いもので明治時代を選定されたものから、近年町おこしの一環で選ばれたものも存在します。これらの名所についても紹介します。



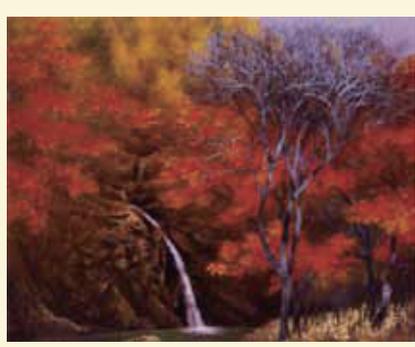
通天湖へ訪れる人々(当館蔵)



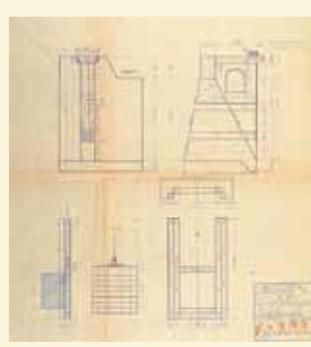
るりの壺(るり溪資料館蔵)



平屋大橋(美山町平屋振興会提供)



錦秋/曲子光男(京都府蔵)



堰堤調節台構造図(京都府立京都学・歴史館蔵)



瑠璃の溪谷/吉田伊佐(当館蔵)



キャンプをする人々(当館蔵)



石の動物園で遊ぶ子どもたち(当館蔵)



るり溪フラワーガーデン(当館蔵)



園部大橋親柱



【アクセス】
◆自動車…京都縦貫自動車道「園部IC」「八木西IC」より約5分。園部公園駐車場をご利用ください。
◆公共交通…JR園部駅下車、駅西口より京阪京都交通バス「八田線」もしくは「園線」に乗車、「交流会館前」下車すぐ。または市営ぐるりバスで「図書館前」下車すぐ。

南丹市立文化博物館
〒622-0004 京都府南丹市園部町小坂町63番地 TEL.0771(68)0081 / FAX.0771(63)2983

表面掲載図版
上段：丹波名勝瑠璃溪(当館蔵) / 下段右：丹波路観光ルート案内(当館蔵)
下段中央：丹波八木大堰川の鮎狩(当館蔵) / 下段左：園部城絵図(個人蔵)
裏面掲載図版
上段：丹波交通株式会社路線図(当館蔵)

※新型コロナウイルス感染症の影響等により事業が中止または内容変更となる場合がございます。ご来館の場合はホームページ等でご確認のうえ、お越しくださいますようお願いいたします。